Rotary 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ガバナー月信

vol.02
2021.08

月信８月号

① ガバナーメッセージ
② ガバナー補佐挨拶
③ RI「超我の奉仕賞」受賞のご報告
④ ロータリーにおける危機管理体制の推移と当地区における危機管理計画の策定
⑤ 会員数及び出席報告
⑥ 地区主要行事予定（８月・９月）
⑦ 新入会員紹介・訃報
⑧ コーディネーターニュース
⑨ ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度
高尾ガバナー事務所

新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565

ロータリーを学び、ロータリーを広げよう。

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナー
高尾 茂典（新潟中央 RC）

梅雨も明け大暑を迎える季節、猛暑が続いております。

昔から暑さ対策として打ち水や風鈴・鈴虫の音色等様々な涼のとり方があるように、夏を大いに満喫し、楽しみながら奉仕と親睦を深めて頂きたいと思います。

3 月 13 日の PETS、5 月 22 日の地区研修・協議会を計画通り、又考えた以上の結果であったと思います。各クラブの会長・幹事様そして各委員長の皆様に、RI メータ会長、そして私からの地区運営方針をしっかりお届け出来たと思っております。これも各実行委員の皆様、地区ロータリアンの皆様のお力添えと感謝申し上げます。

今年度のスタートと同時に公式訪問が始まり、８クラブの訪問を終えました。（7 月 30 日現在）

各クラブの会長様はじめ皆様から歓迎を頂き、皆様との和やかな交流の中でメッセージをお届けさせて頂きました。８クラブの皆様の歓迎とご配慮に感謝申し上げます。

8 月は会員強化月間です。これはメータ会長の優先活動項目でもあります。1 人のロータリアンが 1 人の知人を例会にお招きしてロータリー活動の素晴らしさをご理解いただくこと、そして 3 年未満のロータリアンにも財団、米山、他、奉仕活動と親睦を体感し、ロータリーをもっと理解して頂きたいと思います。

「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう。」という今年度テーマのもと、ロータリーを楽しんで頂きたいと思います。

ガバナー補佐挨拶

「無所属の時間を味わう」

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 1 分区ガバナー補佐
羽田 庄一（水原 RC）

国際ロータリー第 2560 地区第 1 分区ガバナー補佐を務めさせていただきます､水原ロータリークラブの羽田庄一です。浅学非才でありますが、よろしくお願いいたします。

第 1 分区は、北は村上市から南は阿賀野市までと広く、9 クラブ 385 名（5 月末時点）のロータリアンで構成されています。私は、2007 年水原ロータリークラブに入会しました。何もわからず、「とにかく例会に出席すること。他クラブの例会にメーキャップに行け」と言われました（入会 60 年私のロータリーの師・今でも毎週例会に出席)。とにかくどんなに忙しくても時間を作り、例会に出席しました。そして、いつの間にか毎週水曜日に例会に出席することが習慣になり、幹事・会長を経験することにより他クラブとの交流・親睦を深めることができ、ロータリーの見識が広がりました。

2019 年の IM の講演会で会員増強の神様と言われる、高崎 RC 田中久夫先生（会長年度で 64 人から 115 人に、ガバナー年度では地区 50 人の増強)、私は、この講演会を聞いてなければガバナー補佐を引き受けなかったと思います。

個人事業者である私は、「例会に出席し同じテーブルには、先生と言われる職業、由緒ある家柄の様と言われる人、地元法人の会長・社長・立場や年齢の違う会員と平等に会話ができるロータリーは皆平等です」と言われ、「出席し続ける、これが無所属の時間を味わえる醍醐味だ」と言われ、何故例会に出席するのか分かったような気がしました。その年の 12 月末、ガバナー補佐の依頼があり、引き受けました。

まだ、1 年半あるから少しでもロータリーを勉強しようと思っていましたが、何も出来ないまま時が過ぎ、この 7 月からガバナー補佐としてスタートしました。幸い優秀なガバナー補佐スタッフ 3 名と、IM 実行委員長・委員会に恵まれ、公式訪問（オンライン）を 3 クラブ終え、IM 実行委員会も 4 回開催しほぼ内容は決まりました。

オリンピック・パラリンピック終了後、またワクチン接種で感染状況はわかりませんが、COVID-19 の収束を願うばかりです。

最後になりますが、ロータリーは、例会と親睦・奉仕を通し、人を育てる組織だと思います。COVID-19 災禍の中で思うような例会・奉仕活動が出来ない中でもロータリーの歯車は止めてはならない、一人でも多くの人に無所属の時間を味わって頂きたいと思います。

1 年間よろしくお願いいたします。

ロータリークラブ歴

2007 年 10 月	水原ロータリークラブ入会
2012-13 年度	クラブ幹事
2016-17 年度	クラブ会長
2016 年	ポール・ハリス・フェロー
2016 年	米山功労者
2020 年	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 2 分区ガバナー補佐
片山 政博（新潟東 RC）

本年度、第 2 分区のガバナー補佐を務めさせていただきます片山政博です。いよいよ高尾年度がスタートしました。

先期は、コロナ感染拡大による緊急事態の発令により、例会の一時休止そして各種活動の停止などにより各クラブとの親睦を深める機会もなく、世界のロータリークラブは、コロナ感染情報にほんろうされた一年でした。

今期は、ワクチン接種の進捗により、クラブの例会そして活動も徐々に活発化することを期待します。希薄になっていた会員相互の絆を深め、気持ち新たに再スタートです。笑い溢れ魅力のあるロータリークラブの復活になりますよう。

私は、ガバナー補佐として、シェカール・メータ RI 会長方針「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」、地区運営方針「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」というテーマのもと、高尾ガバナーを支えながら、地区とクラブのパイプ役として目標達成に向け報告・連絡・相談を欠かさずに務め、会員のロータリー活動が素晴らしいものとなりますように努めてまいりたいと思います。

ご協力、宜しくお願い致します。

●ロータリークラブ歴
1997 年　7 月 1 日　入会
2003 年　幹事
2018 年　会長

●地区関係
2002-04 年度　青少年交換委員
2004-05 年度　青少年交換副委員長
2005-06 年度　青少年交換委員長
2006-07 年度　青少年交換小委員会委員長

ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 3 分区ガバナー補佐
山口 高司（新津 RC）

高尾年度の第 3 分区ガバナー補佐を務めさせていただきます、新津 RC の山口高司です。

佐藤年度におかれましては、COVID-19 禍の中で佐藤ガバナーをはじめ関係者の皆様が、地区や分区の運営や諸活動において本当にご苦労されてきたことと推察しております。

高尾年度においてもこの状況は当分続くことと思いますが、国際ロータリー会長のテーマ「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」、及び高尾ガバナーの地区運営方針「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を合言葉に、地区の諸事が万事順調に運ぶよう分区内においてガバナーの管理運営を支援しつつ、楽しいロータリーライフを進めていきたいと心を新たにしております。

具体的には、「超我の奉仕」を人生の指標としておられるメータ会長から発信された優先活動 5 項目、及び高尾ガバナーが示された重点目標、数値目標が達成されますように、分区内の各クラブの皆さんと連携し、絆を深めながら取り組んでいきたいと思います。

第 3 分区は 6 クラブ約 100 名の最小分区ですが、COVID-19 に負けることなく、明るく楽しい第 3 分区を目指して微力を尽くしたいと思いますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

ロータリークラブ歴

2008 年 5 月　新津 RC 入会
2014-15 年度　クラブ会長
2016-17 年度　クラブ幹事
2017-18 年度　クラブ幹事
2020-21 年度　クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 4 分区ガバナー補佐
外山 晴一（三条北 RC）

7 月よりロータリークラブの新年度が始まり、私が第 4 分区のガバナー補佐となりましたので、何卒よろしくお願いたします。

今年度の国際ロータリー会長のシェカール・メータ氏は、インド出身です。1984 年に 25 歳でロータリークラブに入会していますから、62 歳です。会計士であり、自身が創業した不動産開発会社の会長です。今年度の RI メータ会長のテーマは、「SERVE TO CHANGE LIVES」（奉仕しようみんなの人生を豊かにするために）です。

私たちの第 2560 地区の高尾茂典ガバナーの地区運営方針は「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」です。

依然として COVID-19 の猛威が吹き荒れています。このような状況の中で、皆様方にはロータリークラブの活動にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

しかし、現実は厳しく COVID-19 の嵐をまともに受けて、事業存亡の危機にあえいでいる仲間も多く、休会したり、退会する仲間もいます。ロータリー存亡の危機と思っています。このような中で、メータ RI 会長より優先的活動項目の第一に打ち出されましたのが「会員増強　120 万人から 130 万人」です。

思えば、ロータリークラブが出来た 1905 年も不景気でした。その中で、会員同士が助け合い、各々の事業を継続、発展させるためにロータリークラブが出来ました。職業奉仕がロータリークラブの 1 丁目 1 番地と言われる所以です。現在も困難な時代ですから、助け合い、相互扶助から始まったロータリークラブ設立の原点に立ち返ってロータリークラブのあり方を考える必要があります。つまり、仕事が苦しいからロータリーを辞めるのではなく、苦しいからロータリーに入って仕事を広げる。つまりお互いの職業を助け合うという職業奉仕がロータリーの原点で基本的活動だということをみんなで再度認識して、これを外部にも広げる必要があります。こうすることがこの時期の会員拡大に大切です。COVID-19 のパンデミック（世界的大流行）という現在のように困難な時期にロータリーの原点に立ち返って会員拡大に成功すれば、ロータリークラブはさらに発展することができます。

6 月 19 日に吉田 RC が主催された IM に参加させて頂きました。そこでは各クラブから「退会防止者ゼロ」や「会員純増」などの取り組みとその成功報告がいくつもされました。大変心強く感じると同時に、皆様のご努力に頭が下がりました。このような力強い仲間の皆様方に支えて頂いて、メータ RI 会長や高尾ガバナーの目標達成に皆様と共に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ロータリークラブ歴

1989 年 2 月 28 日	三条北ロータリークラブ入会
2000-01 年度	幹事
2015-16 年度	会長

ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 5 分区ガバナー補佐
笠原　廣（長岡 RC）

2021-22 年度の第 5 分区ガバナー補佐を拝命いたしました長岡 RC の笠原廣です。

“COVID－19” の影響で各クラブでは「通常例会」がままならない中での、高尾ガバナー年度がスタート致しました。RI 会長方針の『奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために』、そして、高尾ガバナー方針である『ロータリーを学び、ロータリーを広げよう』の下、『奉仕活動を通じて人生を豊かにする』と言う “強い思い” の伝承がスムーズに行えるよう努めると共に、分区内各クラブのロータリー活動が効果的に進められるよう《分区と地区を結ぶ潤滑油》として、精一杯努めさせて頂く所存です。

今年度の「公式訪問」は、“原則オンライン開催” となりますが、出来るだけ分区内クラブの状況を肌で感じられるよう小職の “事前訪問” は、直接の例会参加を計画させて頂きました。コロナ対策をしっかり整えて訪問致しますので、各クラブの皆様には、色々と御手数をお掛けしますが、どうぞ宜しくお願い致します。

早速、今年度の “事前訪問” として「柏崎 RC」と「長岡西 RC」に訪問させて頂きました。両クラブとも、奉仕活動と会員同士の親睦に独自の工夫が施され、温かい雰囲気を感じさせて頂きました。

この《ガバナー月信》が発刊されるまでには、更に「栃尾 RC」並びに「長岡東 RC」へも訪問を終えていることと思います。それぞれのクラブが “COVID－19” の影響下で様々なクラブ運営に工夫を加えながら健闘されていることに感激しております。この一年間皆様のご指導ご協力を賜りながら、ロータリー活動に邁進してまいりたいと考えております。微力ではありますが、どうぞ宜しくお願い致します。

長岡西 RC への事前訪問　風景

ロータリークラブ歴

2011 年 1 月	長岡 RC 入会
2012-13 年度	地区青少年委員会 インターアクト委員
2013-14 年度	地区青少年委員会 インターアクト委員
2013-14 年度	クラブ幹事
2014-15 年度	地区青少年委員会 インターアクト委員長
2015-16 年度	クラブ会長
2018 年 7 月	ポール・ハリスフェロー
2018 年 8 月	米山功労者

ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 6 分区ガバナー補佐
青柳　功（小千谷 RC）

新しい年度がいよいよスタートいたしました。

シェカール・メータ RI 会長（奉仕しようみんなの人生を豊かにするために）

第 2560 地区高尾ガバナー（ロータリーを学び、ロータリーを広げよう。）

RI 会長、地区ガバナーの方針を第 6 分区全ロータリアンと共に、勉強・実行に移し奉仕を通じて、ロータリーの公共イメージの向上をはかり、ロータリーの認知度アップに努める覚悟です。

オリンピック、パラリンピックを目前に首都圏と沖縄では、COVID-19 による緊急事態宣言が発令されました。そのような中で、第 6 分区最初のガバナー公式訪問として、7 月 15 日、小千谷クラブで高尾ガバナー、浅妻地区幹事をお迎えしリアルでの公式訪問クラブ協議会が開催されました。高尾ガバナーにお会いしたいと 2 名の OB 会員が会場へ来てくださいました。会員全員が充実した一日でした。

第 6 分区内では 5 クラブがリモート訪問になりますが、私はやはりガバナーを直接お迎えし、緊張感と感動を味わい、意見交換と親睦を深める場であってほしいと思います。

第 6 分区内では IM の開催日をまだ決めておりませんが、ワクチン接種が進んでから、リアルでの親睦を進められる会を目指して、各クラブ会長幹事と会議を重ねながら決めているところです。

最後になりましたが、第 6 分区のロータリアンのご協力、お力添え、一年間宜しくお願い致します。

ロータリークラブ歴

2008 年 6 月　小千谷 RC 入会
2016-17 年度　クラブ会長

ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 7 分区ガバナー補佐
風間 常樹彦（越後春日山 RC）

新型コロナウイルス感染対応により、前年度同様、RI 活動への影響が余儀なくされています。

高尾ガバナーをはじめ、ガバナー事務所、第 2560 地区事務所の運営のご苦労は、大変なものと推察いたします。エレクト年度より、地区研修・協議会、多くの会議を積み重ねて高尾ガバナー年度に入りました。今日を迎えるにあたり、「光陰矢の如し」の諺を痛感しています。

ロータリーは、四大奉仕と多くの委員会等の活動で組織運営されています。各 RI クラブ会長、委員長は、ほとんど 1 年交替で活動を継続しています。積み重ねと継続性の観点から見た時、なかなか難しいと考えます。そういう意味で、高尾ガバナーの地区運営方針「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」は、活動の継続性に重きを置いていると考えます。

重点目標「真のロータリアンを育成する」「ロータリー活動の認知度を向上する」は、RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）を通して次世代の若いロータリアンを育成すること、また、ロータリーの奉仕活動が地域社会において、理解と広く市民に参加していただくための公共イメージ向上に向けて基盤固めを考え、設定されたものと考えています。

ガバナー公式訪問、IM、そして分区各クラブを訪問して重点目標の継続性を大切に次世代へ繋げる総合的な戦略計画の立案と運営に理解を求めていきたく考えています。

ロータリークラブ歴

2004 年 11 月 11 日　越後春日山 RC 入会
2012-13 年度　　クラブ会長

RI「超我の奉仕賞」受賞のご報告

佐藤 明臣（新井妙高 RC）

この度、RI「超我の奉仕賞」を受賞させていただきました、第 7 分区新井妙高ロータリークラブの佐藤明臣と申します。ロータリーの皆様より、日頃「ロータリー」のさまざまな教えを授かり、多くのご支援、ご協力をいただいて参りました。

国際ロータリー第 2560 地区、2019-20 年度ガバナー大谷光夫様のご理解とご支援、そして RI に推薦していただき、ガバナー事務所、スタッフの皆様には大変なご尽力、ご苦労に感謝申し上げます。国際ロータリーに出会い、インターアクターの皆様、多くの留学生達に関わることができ、17 年にわたる色々な奉仕活動が評価されたのではと思っております。

新井妙高ロータリークラブに入会させていただき 25 年になります。2000-01 年度､宮川糧平ガバナー年度に初めて地区ライラ委員にて出向させていただき、新世代奉仕委員会、青少年奉仕委員会に関わらせていただきました。ライラ委員 2 年目に RI 規定審議会にて、群馬県との分割が決定され、ライラ委員会から離れましたが、その後新世代奉仕委員会、ローターアクト委員として、地区に出向させていただきました。今から 17 年前、佐野ガバナー年度、長岡高専インターアクトクラブ主催の年次大会に参加させていただき、多くのアジア諸国からの留学生と出会い、とても流暢な日本語でマレーシア、ベトナム、バングラデシュなどの生徒達が自国の文化を一生懸命に私達に紹介してくださり、とても感銘を受けました。大会終了後に妙高にお誘いした事が今日に至っております。

スキー交流会を始め、インターアクター夏のキャンプ、全国からのムスリムの皆様約 70 名での 1 週間の標高 1,300 メートルでのキャンプ生活、信州大学留学生とのスキー交流会、上越教育大学での地域住民とお米に関わる交流、上越教育大学附属小学校、直江津小学校での異文化交流、2015 年 12 月 26 日・27 日の横浜東 RAC、相模原 RAC、三条 RAC と合同スキー例会など協力してまいりました。

新聞等に紹介されてから、多くのクラブ、ロータリアンの皆様よりお祝いメール、電話、祝電などたくさん頂き、ただただ驚くばかりです。

これからもこの賞に恥じないように皆様と共に色々な奉仕活動を考え活動していきたいと思います。

大変ありがとうございました！

ロータリーにおける危機管理体制の推移と当地区における危機管理計画の策定

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度　地区危機管理委員会
委員長
石本 隆太郎（新潟 RC）

はじめに

2019‐20 年の大谷ガバナー年度の後半は、年明け早々から中国・武漢発の新型コロナウイルス感染症発生というアクシデントもあり、2 月中旬以降、ロータリー活動も中止、あるいはスケジュールの変更等で、多大なる影響を受けました。

2020-21 年の佐藤ガバナー年度に入ってからも、PETS、地区研修協議会、地区大会の 3 大事業を始め、各種セミナーや地区委員会事業が中止・変更を余儀なくされ、各クラブにおいても、例会の中止や開催方法の見直し等、新型コロナウイルス感染防止対策に振り回された 1 年間でありました。

2021 年 7 月より高尾ガバナー年度に入り、10 日に恒例の地区危機管理委員会をホテルオークラ新潟で開催しましたが、新型コロナウイルス感染症による影響は収まる気配が見えず、PETS、地区研修協議会も対面と WEB によるハイブリッド形式での開催を余儀なくされ、秋に予定していた地区大会も来年 4 月に延期されました。

RI 理事会の通達により、青少年交換事業も、佐藤ガバナー年度に引き続き募集中止が決定しましたし、ライラ、インターアクト、ローターアクト等の青少年奉仕に関わる地区委員会の事業計画も、大幅見直しや変更を余儀なくされております。

ロータリーの各種奉仕事業の中でも、青少年奉仕に関わる事業は、地区だけでなく、各クラブにとっても重要な位置を占めており、青少年の安全を守る上からも、危機管理の重要性は増す一方であります。

クラブ会長はじめクラブリーダーの皆様にも、危機管理意識を高めていただくため、10 日の地区危機管理委員会で報告した「ロータリーにおける危機管理体制の推移と、地区危機管理計画」について掲載させていただきましたので、参考にしてください。

RIJYEC（特定非営利活動法人・国際ロータリー日本青少年交換委員会）

地区組織に危機管理委員会が設置された経緯は、2000 年頃から世界各地で青少年交換学生が被害者

となる虐待やハラスメント事件が多発し、クラブ会長や地区ガバナーに多額の賠償金が求められる訴訟事件が発端になったと言われております。

2006 年、RI 理事会は、大切な青少年の安全を守るとともに、ロータリー組織を守る必要に迫られ、ロータリー章典の大幅見直しを行うとともに、世界全地区ガバナーに対し、危機管理への対応を義務付けました。

① 損害賠償責任保険への加入。
② 青少年プログラムの法人化。
③ 地区組織に危機管理委員会設置。

危機管理への対応が適切に取られている地区には証明書を出し、証明書を貰った地区でなければ、青少年交換プログラムへの参加はできないこととしたのです。

そこで、全国 34 地区ガバナーの中から数人のパストガバナー有志が中心となりまして、特定非営利活動法人・国際ロータリー日本青少年交換委員会（RIJYEC）を立ち上げ、全国のロータリー会員 1 人当たり 100 円の支援金を拠出していただき、年間約 1000 万円の活動資金により、青少年交換留学生の支援事業等を始め、ロータリー組織を守るための賠償責任保険費用や、事務運営費等を賄ってきました。

当地区における危機管理委員会

2007-08 年度に、当地区の組織に危機管理委員会が初めて登場いたしましたが、構成メンバーとして、RI 理事会の指導の下、青少年奉仕活動に携わる委員会の委員長の他、ガバナーエレクトとガバナー補佐 1 名、さらに、ロータリアン以外の有識者委員としての女性代表、司法関係者、医療関係者が各 1 名ずつ参加し、委員長はパストガバナーが就任、事務局として地区幹事が加わるという、他の地区委員会とは性格の異なる特別委員会で、毎年、7 月の年度初めに委員会を開催し、青少年奉仕活動に関わる各地区委員長に対して、「危機管理」に対する啓蒙活動等を行ってまいりました。

2015 - 16 年度、RI 理事会は、「青少年交換・虐待とハラスメント防止に関する方針」を打ち出し、当地区も「危機管理総則」及び「危機管理委員会規定」を制定。各委員会の役割を明確にするとともに、RIJYEC への支援金も、会員 1 人当たり 200 円に値上げとなり、当地区も毎年、一般会計より約 42 万円を支出して支援しています。

2017 年 1 月、RI は「ロータリー青少年保護の手引き」を全世界ガバナー宛に配信。全ロータリアンに青少年の安全を考え、彼らを守るため最善を尽くす責任を課すとともに、「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の具体的指針として、RI の常設プログラム（ライラ、インターアクト、ローターアクト）の全てを包括することを発表しました。

これを契機に、RIJYEC 理事会は 34 地区ガバナーの賛同と地区内クラブの了承を得て、青少年プロ

グラムを、多地区合同青少年交換プログラム・多地区合同組織体として法人化し、2017 年 11 月に RI の承認が得られました。

2018 年 4 月に一般社団法人の法人登記が完了した後、従前の RIJYEC を改編した、国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構（以下、RIJYEM）が、RI に対する全国青少年交換事業を一本化した窓口となって現在に至っております。

従来の損害賠償責任保険（組織としてのロータリーを守る保険：1 億円の損害賠償保険で、年間保険料は 100 万円）を引き継いで契約し、組織強化もはかってまいりました。

＊米山記念奨学会は、既に法人化されており、別途、損害賠償保険に加入済み。

その後、RI より他の青少年プログラム（ライラ、インターアクト、ローターアクト）も損害賠償保険に加入するよう要請があり、当地区も、2018 年度に加入しました。

当初の人格権特約付賠償責任保険の加入状況は、34 地区中 14 地区に留まり、青少年交換事業に比べて対象人数も多かったため、損害賠償額 1 億円に対する 1 地区当りの年間保険料は、会員数に関わらず 30 万円と割高でした。2020 年に全 34 地区が加入して値下げ交渉の結果、会員 1 人当たり保険料が年間 70 円に下がり、当地区会員数に 70 円を掛けた約 15 万円が、一般会計より支出されております。

損害賠償保険への加入の他、「国際ロータリー第 2560 地区危機管理総則」の第 7 条（危機管理資金）に、「危機発生時の対応に必要な資金として、地区会計に危機管理基金を常設する。その管理執行は危機管理委員会の決定に従う。」と明記されたのを受け、2018‐19 年度、特別会計の国際活動会計から危機管理特別会計に 500 万円を基金として積み、大規模災害時等における資金面からの危機管理体制を固めました。

ロータリーの青少年奉仕活動は常に危険と背中合わせであり、時には人命にも関わる重大問題であるとともに、多額の費用支出を伴う場合も有りますので、奉仕活動を主催するガバナーや担当委員長、さらにはクラブ会長の責任は大変重くなっております。

また、ロータリーの青少年奉仕部門の活動は、同一の少年が青少年交換事業、ライラ、インターアクト、ローターアクトの事業と重なる場合も多く、青少年保護や危機管理の問題は、ロータリー財団の奨学生や、米山記念奨学会の学生にも関わる問題です。

今後も、ロータリーの青少年奉仕部門に関わる全ての委員会が、情報を共有しながら、取り組んでいく必要がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルスによる感染症の蔓延とロータリー活動への影響

2020 年 1 月下旬、“中国で新型肺炎発生！”とのマスコミ報道が取り上げられ、連日、新聞一面トップを「新型コロナ」に関する記事が飾るようになりました。

昨年 2 月 16 日、佐藤ガバナーエレクトの国際協議会報告・地区運営会議が開催された時点では、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の報道に関心が集まり、“新型コロナウイルスがロータリーに飛び火する！”と予想した方は、ほとんどおられませんでした。

青少年交換委員会の行事予定に、3 月 6 日からの青少年交換学生のスキー国際交流研修（妙高）と、3 月 19 日～ 22 日の関西研修旅行計画が載っておりましたので、危機管理委員長として、鈴木青少年交換委員長予定者に、複数県にまたがる大人数の事業なので、今年は再検討するよう進言。それを受けて、2 月 20 日に三牧地区青少年交換委員長より、“中止決定！”の連絡が入り、大事に至らずホッといたしました。

その直後、2 月 25 日付で、RIJYEM より全地区ガバナー宛に、「新型コロナウイルスへの対応についての指針（その 1）」が発出され、その後の状況は一変いたしました。

佐藤ガバナーエレクトは、大谷ガバナーと連携を取りながら、「3 月 14 日に開催を予定していた会長エレクト研修セミナー（PETS）の中止」を決定。さらに、3 月 9 日付で、「5 月 30 日開催予定の地区研修協議会の中止」も決定という、これまで経験したことのない大変な事態に陥りました。

各種会議に代わって、映像資料 DVD や紙資料プログラムによる自主講習と、レポート方式に切り替えること等が地区役員やクラブ会長宛に通達されましたが、佐藤ガバナーエレクトにとっては苦渋の決断で、大変なご苦労をされたと推察いたします。

3 月 9 日、RIJYEM より「地区危機管理支援委員会決定指針（その 2）」が全ガバナー宛に発出され、「基本方針として来日学生全員を直ちに彼らの母国に帰国させる。」という指針により、三牧青少年交換委員長中心に、来日交換学生の帰国準備に取り掛かりました。

続いて、3 月 12 日、RIJYEM より「地区危機管理支援委員会決定指針（その 3）」が全ガバナー宛に発出。「日本よりの派遣交換学生を早急に帰国させることが決定。」との指示で、地区青少年交換委員会は、総力を挙げて交換学生の帰国準備に取り掛かりました。

この辺の緊迫した状況については、三牧青少年交換委員長が「ガバナー月信 5 月号」で詳しく報告しておられますが、色々紆余曲折はありましたが、当地区 1 年交換学生全員（アウトバンド 3 名、インバウンド 3 名）が無事帰国できたことは何よりでありました。

それぞれの交換学生にとって、コロナウイルスというやむを得ない事情で、留学期間　短縮という残念な結果になりました。終了証明書は発行されたとはいえ、高校 1 年留年という大きな犠牲を払っての途中帰国ですので、精神的ショックも大きいと思われます。青少年交換委員会としては、今後のアフターフォローに十分留意する必要があります。

2020 年 4 月 9 日のオンライン会議において、2020 年－21 年の佐藤ガバナー年度における青少年交換事業の中止が決定。準備に入ろうとしていた青少年交換委員会はじめ、留学を目指していた学生にとっては、大変残念であったと推察しております。

2021 年 3 月 19 日開催のバーチャル会議でも、RI 理事会は「新型コロナウイルスの世界的流行が続いていることを受けて、2022 年 7 月 1 日までは、地区が長期・短期のロータリー青少年交換を実施してはならないことを決定しましたので、佐藤年度に続いて、高尾年度においても、青少年交換事業は出来ないこととなりました。

2021 年 7 月 4 日に、第 7 回全国青少年交換委員長・全国危機管理委員長合同会議が ZOOM 形式で開催され、各地区の委員長より地区の現況報告と、2022 年 7 月以降の青少年交換事業の見通し等について意見が交わされましたが、当地区を含めまして、“コロナ次第で、見通しが立たない！”という地区が多かったように思います。

同日の会議において、「地区危機管理計画策定についての手引き」をもとに、地区毎に作成を急ぐよう指導されましたが、当地区にとって、危機管理チーム構成であるとか、定期会議の開催等、ハードルの高い部分がかなり含まれており、有事に対応するため、既に地区組織に組み込まれている「地域協働ネットワーク」との関連性もありますので、本間啓介 RIJYEM 研修部門委員より、他地区の情報を収集していただき、出来るだけ実施可能な「地区危機管理計画」の策定を急ぎたいと考えております。

終わりにあたりまして

ここ数日、東京では 2 ヶ月ぶりに 1000 名を超えるコロナウイルス感染者が出ており、7 月 12 日より 8 月 22 日までの間、東京都に 4 回目の緊急事態宣言が発令されると共に、東京オリンピックの開催も、“無観客開催！”を主流とすることが発表になりました。

いささか遅きに失した感がありますが、新型コロナウイルスワクチン接種の方も、計画通りに進んでおらず、コロナの収束時期に関しては、全く見通しが立っていない状況ですから、当然のことと思います。

さらにまたこの数週間、熱海市における大規模土石流のマスコミ報道がなされており、まさに我国が災害列島であることを痛感しております。

これら様々な危機に対して、ロータリーやロータリアンとしてやれることには限りがありますし、特に、今回のパンデミックによる被害は、我々の想像をはるかに超えたものであり、これまでの価値観や今後の生活様式を一変させるものとなりました。

ロータリーの青少年奉仕活動一つ取りましても、ウイルスという目に見えないものが相手だけに、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」というより、「君子危うきに近寄らず」という事を肝に命じ、青少年の安全を第一義としてロータリー活動に取り組まれ、最大限の成果を上げられますよう祈念いたしまして、本文を終了させていただきます。

第2560地区　2020-21年度6月末　会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント登録率	会員数 2020年7月1日	6月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		−	387	372	33	−15
新発田	0	26.8%	95	93	0	−2
村上	4	16.7%	40	38	9	−2
水原	1	22.6%	30	32	1	2
中条	4	90.5%	43	42	3	−1
新発田城南	4	16.7%	44	40	3	−4
豊栄	3	17.4%	23	20	2	−3
新発田中央	5	4.3%	45	44	4	−1
中条胎内	4	56.8%	36	35	6	−1
村上岩船	3	22.6%	31	28	5	−3
第2分区(9クラブ)		−	433	433	25	0
新潟	5	20.4%	88	82	2	−6
新潟東	3	13.8%	63	62	8	−1
新潟南	5	33.0%	96	105	3	9
佐渡	3	100.0%	6	6	0	0
新潟西	4	52.6%	38	39	2	1
佐渡南	2	12.2%	40	40	4	0
新潟北	4	30.0%	39	37	0	−2
新潟中央	4	40.9%	20	21	0	1
新潟万代	4	51.2%	43	41	6	−2
第3分区(6クラブ)		−	102	97	4	−5
新津	3	11.8%	16	17	1	1
村松	5	66.7%	12	12	0	0
五泉	4	0.0%	12	11	1	−1
白根	4	30.0%	30	29	1	−1
新津中央	4	37.5%	26	22	2	−4
阿賀野川ライン	4	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)		−	369	366	26	−3
三条	4	10.0%	57	56	0	−1
燕	4	5.6%	36	34	3	−2
加茂	4	9.4%	30	33	5	3
三条南	3	13.3%	45	44	2	−1
分水	5	80.0%	30	29	4	−1
見附	4	9.1%	22	21	1	−1
吉田	3	6.9%	26	28	3	2
三条北	4	0.0%	60	58	2	−2
巻	4	0.0%	23	25	2	2
田上あじさい	5	14.3%	7	7	1	0
三条東	4	6.1%	33	31	3	−2

R C	例会数	My Rotary アカウント登録率	会員数 2020年7月1日	6月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		−	306	296	24	−10
長岡	4	87.8%	49	45	3	−4
柏崎	4	2.4%	42	41	0	−1
長岡東	3	25.4%	57	52	2	−5
柏崎東	3	17.8%	46	45	3	−1
栃尾	4	12.0%	24	25	0	1
長岡西	3	19.6%	52	50	4	−2
柏崎中央	4	23.1%	36	38	12	2
第6分区(6クラブ)		−	130	123	10	−7
十日町	3	19.4%	29	32	3	3
小千谷	4	10.0%	27	30	3	3
雪国魚沼	5	12.5%	24	20	2	−4
十日町北	3	4.8%	21	19	1	−2
津南	4	17.4%	23	16	1	−7
越後魚沼	2	16.7%	6	6	0	0
第7分区(8クラブ)		−	337	313	23	−24
高田	4	31.2%	76	72	5	−4
直江津	5	36.6%	71	69	6	−2
新井妙高	5	12.5%	32	31	1	−1
糸魚川	4	83.3%	41	42	3	1
高田東	4	63.9%	36	36	3	0
糸魚川中央	3	53.1%	33	28	0	−5
頸北	3	18.2%	10	0	0	−10
越後春日山	4	100.0%	38	35	5	−3

クラブ数	55	クラブ
7月1日　会員数	2,064	人
6月末 会員数	2,000	人
女性会員数	146	人
純増減会員数	−64	人
My Rotaryアカウント登録率	28.8	%

※頸北RCは6月末で解散（RI脱会）しました。

地区主要行事予定

2021年7月29日現在

年	月	日		行事	会場
2021年(R3)高尾年度	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間			
		6	(金)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
		7	(土)	ロータリー財団地区資金監査	万代シルバーホテル
		~~22~~	~~(日)~~	~~国際奉仕フォーラム~~　→中止	~~ANAクラウンプラザホテル~~
		28	(土)	第1回地区ロータリー財団セミナー/地区補助金オリエンテーション	長岡グランドホテル
		28	(土)	防減災セミナー	長岡市立中央図書館講堂
		29	(日)	米山記念奨学生親睦交流会	ホテルオークラ新潟
	9月	基本的教育と識字率向上月間			
		4	~~(土)~~	~~第5分区IM　(笠原G補佐・長岡)~~　→2022/5/14に延期	~~長岡グランドホテル~~
		7	(火)	地区大会記念親睦ゴルフ大会	フォレストカントリー倶楽部
		13-14	(月～火)	ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)	オンライン
		15	(水)	次年度の地区研修リーダーのためのセミナー(DTLS)	オンライン
		25	(土)	第4分区IM　(外山G補佐・三条北)	ジオ・ワールドVIP
		~~25~~	~~(土)~~	~~第6分区IM　(青柳G補佐・小千谷)~~　→延期	~~JA越後おぢやグリーンパーク~~

【新入会員】

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
柏崎東	成瀬　和徳	2021.3.25	日本生命保険相互会社 柏崎営業部	営業部長	生命保険
柏崎東	小林　禎幸	2021.6.7	㈲コモッド セブンイレブン柏崎横山店	代表取締役	コンビニエンスストア オーナー
村上岩船	松田　敏幸	2021.6.7	株式会社 松田輪業	代表取締役	自動車整備
村上岩船	齋藤　康江	2021.6.7	有限会社 住吉屋	取締役	料理店(和食)
三条	長谷川　徹	2021.6.23	㈱第四北越銀行　三条支店	支店長	銀行
高田東	市川　真紀	2021.6.25	㈱ワイズ	代表取締役	生活関連サービス業
吉田	本間　伸二	2021.7.1	株式会社 郷	代表取締役	農業生産法人
長岡西	佐藤　直樹	2021.7.1	株式会社 三青	代表取締役	青果卸
村上	五十嵐　和明	2021.7.1	村上信用金庫	常務理事	信用金庫
雪国魚沼	髙村　裕樹	2021.7.1	FICパートナーズ㈱	代表取締役	保険業
雪国魚沼	岡村　佑一	2021.7.1	㈱サンキヨウ	取締役専務	食料品販売
雪国魚沼	山岸　誠児	2021.7.1	㈱五十沢板金工業	代表取締役	建設業
新井妙高	中田　浩太郎	2021.7.7	有限会社 ミサ企画	代表取締役	飲食業
新井妙高	藤村　元気	2021.7.7	妙高建設 株式会社	代表取締役社長	住宅建築
三条	渋谷　政道	2021.7.7	三条印刷㈱	代表取締役	印刷
糸魚川	竹井　操一	2021.7.8	東北電力ネットワーク(株) 糸魚川電力センター	所長	電力供給
糸魚川	渡邊　博	2021.7.8	渡辺エンジン工業(株)	代表取締役	自動車整備
糸魚川	松尾　泰一	2021.7.8	松尾(株)	代表取締役	産業機械卸売業

【訃報】

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
三条	加藤　紋次郎	2021.6.16	㈱ビップ	取締役相談役	冠婚葬祭業	

Rotary
Region 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2021年8月号

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

会員増強・新クラブ結成推進月間

コロナウイルスの感染が、ウイルスの変異が止まらず収束を見せない状況の中、新年度がスタートしました。一昨年12月から1年半が経過しましたが、昨年度のガバナーはこの新常態に対応すべく果敢に新しい地区運営に尽力され、文字通りホルガー・クナーク前RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉をひらく」を実践してこられました。3大研修やクラブ公式訪問もリアル、オンライン、ハイブリッドなど工夫を凝らして開催されました。地区大会も中止の判断をされた地区もあり、リアルで開催できた地区は限定されました。また、楽しみにしていた台北での国際大会も2年連続でバーチャルでの開催を余儀なくされ、地区内会員が一堂に会し、日ごろの活動を振り返り、アイデアを交換し、友情を確かめ合い、親睦を深めることも思うようにできませんでしたが、新しいアイデアのもと様々な奉仕活動やクラブ・地区運営などが実践され、今年度につながるものと期待しています。クラブにおいても同様でしたが、いち早くこの新常態に合わせたクラブ運営に切り替え、従前より活発に活動をされているクラブも数多くあります。オンライン例会ならではの利点を活かし、卓話講師の枠を拡げたり、ネットワークを活かしてクラブ、地区を超えた奉仕活動を実践されているクラブも数多く見られます。2680地区大会はバーチャルでしたが、サプライズ演出で花火1000発を打ち上げられ、閉塞感の強い地域社会に一服の清涼感をもたらし、NHK関西にて取り上げられ、公共イメージの向上に大きな役割を果たしました。また、2750地区ではポリオ撲滅JAZZチャリテイコンサートを開催し、大きな寄付を集めることに成功し、この取り組みもNHK関東で取り上げられました。さらに2510地区大会はバーチャルでしたが、工夫を凝らし、YouTubeにて地区大会の裏番組ともいうべき、解説とゲストによる対談などを放映して地区内会員に対してロータリーの知識や楽しみ方などを伝えることが出来ました。困難な状況のなか、このように積極的にアイデアを出し合い前に進んでいく姿勢こそ、今最も必要とされていると思います。それには、地区においてはガバナー、クラブにおいては会長の強い思いとリーダーシップが不可欠です。地区もクラブもこの新常態に合わせ、ビジョンを持ち行動することが求められています。夢のある者、目標があり、目標のある者、行動があるという言葉がありますが、ロータリーでも同じことが言えると考えます。クラブにおいては、会長のリーダーシップのもとクラブ会員全員参加で行動計画を作成し、実践・行動していただきたいと考えます。改めて言うまでもなく、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。活発な活動を通じて良い仲間を迎え入れましょう！

第２地域　ロータリーコーディネーター　水野　功（東京飛火野RC）

7つ目の重点分野「環境」

みなさんは、ロータリーの6つの重点分野に7つ目として「環境」が加えられたことをご存知でしょうか。今年度からこの分野のプロジェクトもロータリー財団のグローバル補助金申請の対象となっています。

6月号の『ロータリーの友』によると、このことが発表されたのは2020年6月でしたが、マーク・マローニー元RI会長は当時を振り返って、「ロータリアンやローターアクター、一般の人々を対象とした調査によると、「環境」が関心事のトップ５に入っていて、特にロータリーの候補者といえる一般の人々には、「環境」は第一に取り組むべきこととなっていました。」と述べていらっしゃいます。

「ロータリーのビジョン声明」を達成するための「行動計画」には四つの優先事項がありますが、そのうちの一つは　●「参加者の積極的なかかわりを促す」となっています。会員の関心が高い「環境」が重点分野に入ることは、会員の参加意欲も沸いてくるわけで、「行動計画」の目指すところとも一致することになります。クラブが「環境」にかかわる奉仕プロジェクトを実施することで参加者が増えれば、クラブの活性化につながります。みなさんのクラブでも、「環境」にかかわる新しい奉仕プロジェクトをスタートさせることを視野に入れてみてはいかがでしょうか。日本がプロジェクト実施国となって行えるグローバル補助金プロジェクト実施の可能性も、他の重点分野に比べて高いように思います。

重点分野に「環境」が加わることは、ロータリーの公共イメージ向上の上でも、「世界を変える行動人キャンペーン」の展開に大きなプラスとなります。ロータリーは何をしているのですか？という問いに、ポリオ根絶や紛争の解決、教育支援に加えて、「環境」にも取り組んでいることがわかれば、ロータリーをより身近に感じ、共感を持つ人が増えるだろうと思われます。

ロータリアンは「他者を思いやる心」を持って行動しています。その「他者」とは、たまたま隣に居合わせた人、仕事で関わる人々、自分の身近な地域社会の人々、この地球上に同じ時代に生きるすべての人々だと思っています。しかし、地球の環境を考える時、そこには私たちの子供、孫の世代、さらには何世紀も先の未来の人々も含まれるのだと気づかされます。わたしたちが目指す持続可能なよい変化は、地球の未来に続く道となります。

第２地域　ロータリー公共イメージコーディネーター　服部　陽子（東京広尾RC）

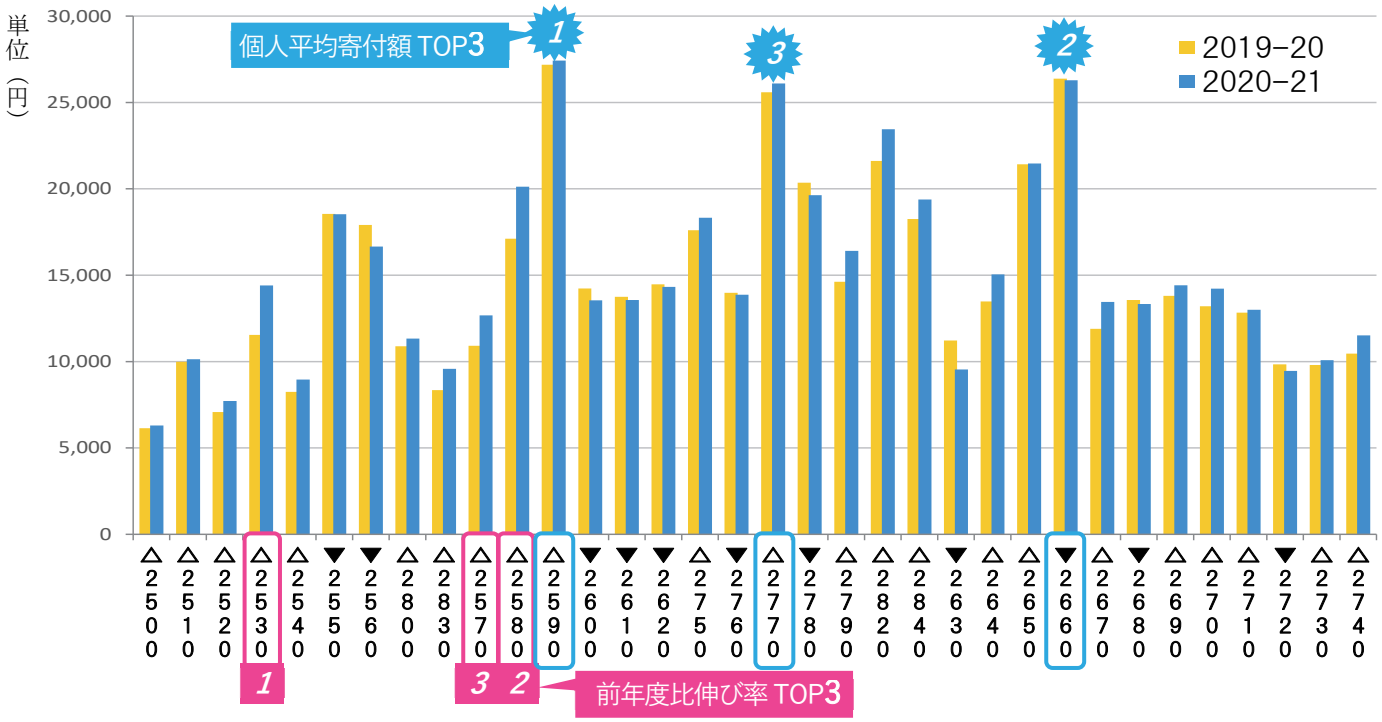
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.256
2021年7月13日
発行

1. 2020-21年度　寄付金結果

2020-21年度の寄付金は約13億3,600万円でした。新型コロナウイルスの影響から寄付状況が危ぶまれましたが、最終的には前年度比0.04%増（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：0.7%増）と約50万円の増額で、ほぼ2019年度並みの寄付結果となりました。社会的、経済的にまだ落ち着きを取り戻せていない状況下、多くのロータリアンの方々からご寄付をいただいたことにより、2020年度予算額13億3千万円を達成することができました。心より御礼申し上げます。今年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



個人平均寄付額TOP3　【全国平均：15,516円】

1 第2590地区：27421円　2 第2660地区：26279円　3 第2770地区：26097円

前年度比伸び率TOP3

1 第2530地区：124.6%　2 第2580地区：117.5%　3 第2570地区：116.0%

2. 学友会セミナー開催報告

6月26日、国内外の米山学友会代表者が参加する学友会セミナーをZoomで開催しました。

当日は、齋藤直美理事長から学友会へのメッセージ、事務局から個人情報保護や提出書類に関する説明のあと、韓国（キム デイル幹事長）、マレーシア（黄 麗容会長）、第2620地区（上野佳子会長）、第2660地区（ミン スラ会長）が、それぞれ学友会の特長となる活動紹介を行いました。続いて、4グループに分かれて「コロナ禍における学友会活動の工夫」をテーマとするディスカションを行いました。その後、全体セミナーに戻って質疑応答、第3回世界大会の告知（朴 貞子実行委員長）、駒井英基常務理事/学友・学友会担当理事の挨拶で閉会となりました。水野 功副理事長、井原 實常務理事（いずれも選考・学務担当理事）にもご参加いただき、オンラインではありましたが、3年半ぶりに同セミナーを開催することで、他学友会の活動や課題を全員で共有する有意義な会となりました。

3. 米山初の紺綬褒章受章者が誕生！

国際ロータリー第 2630 地区（岐阜県・三重県）上野ＲＣの丸山統正（まるやまむねまさ）氏（写真右）が 5 月 29 日、紺綬褒章を受章しました。7 月 6 日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当会の水野 功副理事長から丸山氏へ褒状が贈られました。

丸山氏は昨年 6 月、長年にわたって収集してきた故平山郁夫氏の版画を売却した代金の一部を当会へご寄付いただきました。この多大なご支援により、当会から国へ紺綬褒章の授与対象として申請し、閣議決定を経て、このたび紺綬褒章授与が決定しました。

紺綬褒章は公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人や団体に対し、天皇陛下から授与される褒章です。当会では 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、初めての受章者が誕生したこととなります。心よりお祝い申し上げます。

【丸山氏からのコメント】このような大きな褒章をいただき、身に余る光栄です。私は若い頃から平山郁夫さんの版画を長年収集しておりました。戦争を憎み、人類は一つであるとの信念から、平和への祈りを込めて多くの作品を描いた彼の思いに深く共感していました。また、私自身がこのクラブで 4 度も米山委員長の担当となり、米山奨学事業の目的と平山さんの理念に相通ずるものを感じて、今回寄付に至った次第です。すべての皆さまに感謝申し上げます。

4. レンタルします！ ― ロゴ旗＆タスキ ―

今年度からロゴ旗および学友・奨学生用タスキを新たに作りました。ご希望の方に無料で貸し出しいたします（返送料のみご負担ください）。ロゴ旗は大小 2 種ありますので、地区大会の壇上や例会会場などでご掲揚ください。タスキは、学友や奨学生が集まるイベントや奉仕活動の際にぜひご活用ください。いずれも数に限りがあり、使用後は速やかにご返却ください。お申込みは①送付先②ご要望の品名（タスキの場合は希望本数）③使用日 を記載のうえ、当会広報担当 highlight@rotary-yoneyama.or.jp まで

5. 50 周年記念誌頒布終了のお知らせ

財団設立 50 周年を記念して制作した『ロータリー米山記念奨学会 50 年のあゆみ』は、おかげさまで 6 月末をもって頒布を終了しました。ご購読いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。残部につきましては今後、研修資料として適宜活用する予定です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）